

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号 TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777



広がる新庄・最上地域の可能性

～新庄・最上は今変わろうとしている！ 病院、大学、道路、好機をいかに活かすか～

山科 新庄病院の建て替えと機能強化も順調に進み、今年10月1日の開院が決定しました。また、東北中央道も新庄真室川インターチェンジ(昭和)までが開通し、首都圏とノンストップでつながりました。さらには、令和6年4月に東北農林専門職大学が開学する予定となり、新庄最上地域は今県内でも大変注目されています。知事のこの地域に力を入れる思いについてお話しください。

知事 地方創生が叫ばれ久しいが私は県内の均衡ある発展を掲げて県政に取り組んでいる。そのためには最上地域の発展が重要だ。新庄最上地域は高速交通網の整備が遅れ、豪雪地帯でもあることから人口減少が著しく高齢化率も高い。しかし、農産物や観光資源などまだまだ生かしていない魅力や資源があると考えている。道路の高速化が図られたことで観光客の誘致や農産物、工業製品等の迅速な流通が期待される。秋田県境の未開通箇所並びに横軸の新庄酒田道路の早期開通にも力をそそぎたい。また、新庄石巻道路の整備が遅れているが、太平洋と日本海を最短で結ぶ路線なので国への要望をさらに進めていきたい。県の負担分についてもしっかりと予算確保していくつもりです。

山科 縦軸横軸の交差する新庄インターチェンジ付近はこれから大いに期待が持てる場所だと感じますが、現農林大もすぐそばです。隣には専門職大学の建設も始まり開学へ地域の期待も高まっています。

知事 山科県議は当初から新庄に高等教育機関(大学)が必要だと訴えられていましたね。なかなか難しい案件だと思いましたが、実現の運びとなりましたね。山科県議から「専門職大学」という新たな大学制度でどうかと提案された時、県立農林大を活かしながら地域の産業ともマッチングする最上発展の柱とすべく私も決断をいたしました。教員確保も順調に進み建設工事も始まり開学に

向けて準備を進めているところです。

山科 知事には新庄最上に目を向けてもらい感謝している。若者人口が減る中、大学運営は大変なことであるが、食料確保や国土、環境保全といった分野はこれからますます注目されると思う。農林業に興味をもつ学生の確保に取り組みが必要がある。そのためにも、大学に入る前から実業教育と大学を連携して学ばせることが必要だと考える。スポーツや芸術の分野では小さい頃からその教育に特化する傾向があるが、農林業に興味がある子ども達にも大学入学前から大学で学べる機会を作るなどしてもよいのではないかと。特に高校生については、普通科、実業科で大学の単位を取れるようにしたり助手として大学の研究室に行つて研究に参加したりしていったらよいと思う。実際、鶴岡市の慶応大先端研には鶴岡市内の高校生が頻繁に足を運び独自の学びを進めており、大学進学につながっていると聞いている。興味のあることを伸ばしていくという点で県内の高校でも可能だと思える。

知事 面白いですね。東北農林専門職大学の可能性も広がるし県内高校の生徒にとってもより高度な学習の機会を得られるでしょう。実際に他県の例も参考にしながら進めていけるのではないかと。山科県議もぜひ進んでいきたいですね。

山科 新庄最上は何かと遅れがちだが、教育環境として先進的な取り組みをぜひやっていただきたい。コロナ禍でオンライン、リモートということが急速に身近になった。新庄最上に住みながら首都圏だけでなく世界とつながることは難しいことではなからずと感ずる。私は地方に暮らす人がいろいろ諦めがちになっていると感じているが、やり方を工夫することで可能性は広がると考える。知事にも協力いただきながら新庄最上地域のために働いていくつもりです。ありがとうございました。

今秋 10月1日 **県立新庄病院オープン!**
 新設される患者総合サポートセンター

新庄病院開院までの予定

令和5年3月末	新病院建設工事完了、引き渡し
4月	外構工事開始 施設内研修、シミュレーション 情報ネットワーク工事着手
6月	情報ネットワーク工事完了
7月	外構工事完了 医療機器・什器備品搬入開始
9月	患者搬送リハーサル 移転前総合リハーサル
10月1日	新病院開院

山科 新庄病院に患者総合サポートセンターが新設されますが医師会の先生方はどのように運営されるイメージですか。

土田 サポートセンターは新庄最上の将来を見据えてなくてはならないものだと考えます。医療資源が少ないこの地域では、それらを効果的に活かす地域の包括ケアを確立していかなければなりません。具体的には、病院、開業医、歯科医、薬剤師、福祉施設、県保健所、市町村等が連携し地域の医療、介護、福祉の充実を目指します。

山科 入院から在宅へ、あるいは施設へのスムーズな移行や治療が終わったからのケア、さらには病気の予防といったことを一体的に支援することで住民の皆さんが元気に安心して生活できるようにするのがいいですね。

土田 酒田市等でも同様の取り組みがありますが、行政や保健所が加わるサポートセンターは県内初であり、先進的な取り組みだろうと思います。地域の特性を踏まえ将来を見据えたサポートセンターを病院内に設置することに山科県議にご尽力いただいたことに感謝しています。

新庄最上郡医師会 土田秀也会長
 (医療法人 土田医院院長)

県立新庄病院総合患者サポートセンター

新しい新庄病院では一患者に対して、入院時の不安の解消や、退院後に円滑に在宅療養ができるようにするために総合的に支援する「総合患者サポートセンター」が設置されます。また、センターの中には最上8市町村が共同で運営する「在宅医療・介護連携拠点」や、保健所の一部の窓口が設置され、在宅医療・介護サービスのほか、福祉制度全般についての相談などが受けられるようになります。新庄病院内の「総合患者サポートセンター」に、このような市町村や保健所の一部の機能を置く、「もがみモデル」を進め、地域の皆さんが、より一層、安心して暮らすことができる環境が整うことが期待されます。

入院支援機能	地域連携機能	相談機能	情報発信機能
●入院前支援 ●入院手続き ●ベッドコントロール ●薬剤管理、栄養指導	●退院支援 ●紹介、逆紹介 ●地域医療機関への患者情報提供	●医療相談 ●治療費相談 ●がん相談 ●がん患者サロン	●健康教室等の実施 ●患者図書室の設置

山科 将来的には病院内のサポートセンターでワンストップで医療福祉の手続きができるようにしたいと考えます。

土田 患者さんの利便性が向上しますね。開業医にとってもサポートセンターを介して患者さんの情報共有ができ、歯科医、薬剤師、福祉関係者などと連携しやすくなると思います。新庄最上地域全体で住民の健康を守っていくという思いです。

山科 10月の開院に向けサポートセンターの準備も進んでいると聞いています。

口腔内の健康がからだの健康維持につながります
 新庄地区歯科医師会 伊藤直樹会長(伊藤歯科医院)

山科 県立病院に病院歯科が新設されます。伊藤 県議には医療関係者や関係団体と協議を重ねながら県立病院の建替と機能強化にご尽力いただきました。歯科医師会としての要望も実現し嬉しく思います。歯科の設置により入院患者の治療や口腔ケアが提供できるようになり、主疾患の治療に専念できることで入院期間の短縮や治療率の向上が期待されます。歯科が設置されることで、口腔ケアのより高度な知識や技術が病院から地域全体に発信されることにも期待したいと思います。

山科 歯科と全身の健康は深く関係していますね。口腔外科という診療科目もあります。

伊藤 一般歯科で対応困難な抜歯や外科的治療などを口腔外科で対応します。病院では新庄徳洲会病院に設置されているので、役割分担しながら診療を行っています。

山科 開業医の先生、新庄病院の歯科で新庄最上地域の健康増進に対応していただけることに期待いたします。